

令和3年度「教員免許状更新講習」
～ 自然体験活動から子供達の生きる力を ～

開 催 要 項

1. 趣 旨 平成21年度から導入された「教員免許更新」制度は、その時々で求められる教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものである。
今日の子供達は、変化の激しい社会において生活が豊かで便利になることと相反して、自然体験や生活体験といった子供達が心豊かにたくましく生きていくために必要な力を身につける機会が不足する傾向にある。また、家庭環境による体験活動の格差も生まれ始め、放っておくとますますその格差は拡大していくといわれている。このような状況に対応するため、小学校では前年度から、中学校では今年度（令和3年度）からスタートする新学習指導要領においては、「生命の有限性や自然の大切さ、挑戦や他者との協働の重要性を実感するための体験活動の充実、自然の中での集団宿泊体験活動や職場体験の重視」などが示され、すべての児童生徒が学校教育においてもさらなる体験活動の充実が求められている。
当講習では渡嘉敷島の豊かな自然を活用した自然体験プログラムを取り入れ、教員が自らの経験を豊かにするとともに、自然体験・集団宿泊活動の意義を理解し、その指導法、健康・安全管理等についての知識を深め、資質向上を図ることを期待し実施する。
2. 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家
3. 後援(予定) 渡嘉敷村 渡嘉敷村教育委員会 琉球新報社 沖縄タイムス社
4. 期 日 令和3年8月4日(水)～8月6日(金) 2泊3日
予備日：令和3年9月18日(土)～9月20日(月) 2泊3日
5. 場 所 国立沖縄青少年交流の家、又は、沖縄県立糸満青少年の家
(荒天等で船舶の欠航が予想される場合は、沖縄県立糸満青少年の家で実施)
6. 対象・定員 主に小学校教諭、中学校教諭（令和3年度末及び令和4年度末が修了期限の方）
50人
(講習内容は主に小学校教諭、中学校教諭を対象としますが、幼稚園教諭及び高等学校教諭、特別支援学校教諭も受講可能です)
※養護教諭、栄養教諭は対象外
7. 受講費用 ○受 講 料：18,000円(船舶代含む)
○参 加 費：6,500円(食事代、保険料、シーツ代、クラフト代、雑費)
計24,500円は渡嘉敷島にて徴収いたします。
○宿泊料、島内での交通費、船舶代 → 無料(別途、徴収致しません)
※事業当日、とまりん乗船券売り場にて事業名と氏名を申し出て船舶チケットをお求めください。

8. 内 容 選択領域18時間 「教科指導・生徒指導その他教育の充実に係る事項」

| 領 域 | 内 容 と 形 態 | 時間 | 講 師 |
|---------------|---|----|--|
| 教育の課題に関する理解 | 「生涯学習社会における学校教育・社会教育」【講義】 急激な社会変化へ対応するための生涯学習社会構築の必要性と学校教育・社会教育の役割、教員に求められているものは何かを学ぶ | 2 | 元琉球大学教育学部教授・学部長 教育協働研究所岳陽舎代表 井 上 講 四 氏 |
| 体験活動に関する理解 | 「体験活動の意義と学習指導要領」【講義】 体験活動の教育的意義、指導者の役割と資質を理解するとともに学習指導要領との関連を理解する。 | 2 | 名城大学 人間健康学部 スポーツ健康学科教授 平 野 貴 也 氏 |
| 体験活動に関する技能の習得 | 「体験活動の指導法①」【実習】 ～ レクリエーションの基本と実技 ～ 子供同士、教師と子供の関係を円滑にするためのレクリエーション等の体験活動プログラムについてその意義と指導方法を学ぶ。 | 2 | 沖縄国際大学総合文化学部 人間福祉科 非常勤講師 細 田 奈 々 氏 |
| | 「体験活動の指導法②」【実習】 ～ マリン活動 ～ 渡嘉敷島の自然を活かしたマリン活動について安全管理及び安全指導の実践を行い、安全管理体制や安全指導、子供同士の関係を深めるための指導法を学ぶ。 | 3 | 名城大学 人間健康学部 スポーツ健康学科教授 平 野 貴 也 氏 |
| 体験活動に関する技能の習得 | 「体験活動の指導法③」【講義】 ～ 体験活動の安全確保と安全指導 ～ 体験活動の実施にあたり、感動的で安全安心な活動にするための安全管理や指導法等について学ぶ。 | 2 | 国立那須甲子青少年自然の家 次長 北 見 靖 直 氏 |
| | 「体験活動の指導法④」【実習】 ～ 野外炊事 ～ 野外炊事について安全管理及び安全指導の実践を行い、安全管理体制や安全指導、子ども同士の関係を深めるための指導法を学ぶ。 | 4 | 国立沖縄青少年交流の家 主任企画指導専門職員 中 里 昭 夫 |
| | 「体験活動の指導法⑤」【講義・実習】 ～ 体験活動とフィードバック ～ 体験活動における達成感や学んだ価値を整理する指導法や評価等について学ぶ。 | 2 | 国立那須甲子青少年自然の家 次長 北 見 靖 直 氏 |
| 履修認定試験 | | 1 | |

9. 研修日程

| 研修日程 | | | | | | | | | | | | |
|---|----------------------|-----------------|----------------------------|--|----------------------------|-------|---|----------------------------|--------------|---|-----------------------|-----------|
| | | 10:00 | 11:10 | 12:00 | 13:00 | 15:00 | 17:00 | 19:00 | 21:00 | | | |
| 8/4 (水) | | | フェリー とかしき 出航 | 受 付 ・ 移 動 | 開 講 式 | 昼食 | 講義 「生涯学習社会における 学校教育・社会教育」 | 講義 「体験活動の意義と学習 指導要領」 | 夕食 入浴 | 実習 「体験活動の指導法① レクリエーションの基本 と実技」 | | |
| 6:00 7:00 8:30 9:00 12:00 13:00 15:00 19:00 19:30 21:00 | | | | | | | | | | | | |
| 8/5 (木) | 起床 洗面 健康 確認 | 朝の つどい 朝食 | 移 動 | 実習 「体験活動の指導法② マリン活動」 | | 昼食 | 講義 「体験活動の指導法③ 体験活動の安全確保と 安全指導」 | 実習 「体験活動の指導法④ 野外炊事」 | 移 動 | 入浴 清掃 | 情 報 交 換 会 | |
| 6:00 7:00 8:30 9:00 12:00 13:00 13:30 14:30 16:00 17:10 | | | | | | | | | | | | |
| 8/6 (金) | 起床 洗面 健康 確認 | 朝の つどい 朝食 | 清 掃 チ ェ ッ ク | 講義・実習 「体験活動の指導法⑤ 体験活動と フィードバック」 | グ ル ー プ 発 表 | 昼食 | ま と め の 時 間 | 履 修 認 定 試 験 | 開 講 式 | 移 動 | フェリー とかしき 出航 | 那覇市泊港にて解散 |

※講師及び日程・内容については、都合により変更になる場合があります。

10. 申込みについて

(1) 受付期間 令和3年4月15日(木)午前9時から令和3年5月12日(水)午後5時まで。
但し、申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

(2) 申込方法

①電話にてご本人が仮申込みを行ってください。(先着順50人)

②受講申込書をHPよりダウンロードし、必要事項を記入押印の上、下記の書類を当青少年交流の家宛に5月26日(水)必着で郵送して正式に申込み手続きしてください。

※封筒には「教員免許状更新講習申込み」と朱書き願います。

・受講申込書(ホームページよりダウンロード)

・受講対象者であることの証明(上記申込書下欄使用可、様式自由)

・自宅住所を記入し、84円分の切手を貼った返信用封筒(長形3号封筒)

※参加決定通知書送付の為。

(3) 留意事項

①受講者が定員に満たない場合は再募集する場合があります。

②受講の手続き方法や受講対象の判断等は、文部科学省ホームページのフローチャート等でご確認ください。※養護教諭、栄養教諭は対象外です。

③全日程の宿泊受講といたします。

11. 持ち物

○体調管理シート(2週間分の記入済み) ○マスク ○体温計 ○着替え ○水着(ぬれても良い服)

○帽子 ○サンダル ○タオル ○筆記用具 ○洗面・入浴用具(歯ブラシ、シャンプー、石けん等)

○マイカップ(水筒可) ○雨具(カッパ) ○健康保険証 ○履きなれた靴 ○日焼け止め

○屋内用スリッパ ○常備薬(必要な方) ○ドライヤー(必要な方) ○酔い止め薬(必要な方)

※金品や貴重品は各自で管理してください。携帯電話・スマホは研修中禁止です。

※動きやすい服装、野外炊事は長袖・長ズボン・靴でご参加ください。

※海洋研修中は、ラッシュガード等を着用し、肌が露出しないようにしてください。

12. 新型コロナウイルス感染症防止対策における留意点

(1) 参加者は事業2週間前から体調管理シートを用いて自己管理を行う。

(2) 事業中はマスク、手洗い、消毒、互いの距離をとるなど可能な限り「三つの密」を避けるよう対策を行いながら実施する。

(3) 事業中は起床後と就寝前に体温測定と健康観察を行い、参加者の健康維持を図る。

13. 新型コロナウイルス感染症防止のお願い

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の中止や延期、日帰り開催とすることがあります。

(2) 発熱等の諸症状がみられる場合は、参加を取りやめていただくようお願いいたします。

(3) お住まいの自治体に往来自粛の要請等が出ている場合は、事業への参加をご遠慮いただきます。

14. その他

(1) 最終日の認定試験(筆記試験)で基準を満たした方には、令和3年度末及び令和4年度末教員免許状更新に限り有効となる「履修証明書」を発行します。(30時間の必要単位のうち、選択領域18時間分)

(2) 講座実施に関わるアンケート等の調査にご協力いただきます。

(3) 受講に必要な用具等詳細については、受講者に後日連絡いたします。

(4) 講習時間以外の当施設における標準日課について、ホームページ等で十分ご理解の上ご参加ください。

(5) 泊港にて各参加者でフェリー乗船券を受け取り、9時30分までに乗船をお願いします。

※乗船券の予約は交流の家で行います。泊港「乗船券売り場」にて「交流の家事業名及びお名前」を、売り場係員へお伝えください。

(6) 受付は渡嘉敷港待合所にて行います。(受付後に参加費等の徴収を行います。事前振込み等はありません)

(7) アレルギー等、健康上の配慮が必要な場合は、必ず申込時にお申し出ください。

記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット(ソーシャルメディアサービスを含む)等に掲載することがあります。

なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人(又は保護者)から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。ご承諾いただけない場合は事前に事業担当者へご相談ください。

【申込・問合せ先】

国立沖縄青少年交流の家 担当：仲村 出
〒901-3595 沖縄県渡嘉敷村字渡嘉敷2760番地
TEL 098-987-2306 FAX 098-987-2318
E-mail okinawa@niye.go.jp

国立沖縄青少年交流の家 検索



マリナブルー とあいさ
国立沖縄青少年交流の家
National Okinawa Youth Friendship Center